

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	夢門塾戸塚原宿		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39	(回答者数) 31
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	外出活動や季節行事など活動プログラムが非常に充実しており、子どもが楽しみに通所している。空港見学や博物館、買い物学習など体験型活動が多く、実践的な学びの機会が豊富である。	コドモンや送迎時のフィードバックを活用し、日々の様子を丁寧に伝えている。写真付き報告や通信発行など情報発信を継続している。	活動内容が固定化しないよう、職員間でアイデアを出し合い、新しいプログラムを取り入れている。
2	外出活動や季節行事など活動プログラムが非常に充実しており、子どもが楽しみに通所している。空港見学や博物館、買い物学習など体験型活動が多く、実践的な学びの機会が豊富である。	コドモンや送迎時のフィードバックを活用し、日々の様子を丁寧に伝えている。写真付き報告や通信発行など情報発信を継続している。	児童発達支援管理責任者の配置を早急に整え、個別支援計画の作成・説明体制を安定させる必要がある。
3	安全管理意識が高く、避難訓練の実施やヒヤリハット共有、マニュアル整備など、基本的な安全体制は整っている。	活動内容が固定化しないよう、職員間でアイデアを出し合い、新しいプログラムを取り入れている。	家族支援プログラムや保護者交流機会を増やし、家庭支援機能を強化する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児発管不在により、個別支援計画の作成や説明が十分に行えない期間が発生している。	人員配置の不足や体制変更により、計画作成・説明が停滞している。	児発管の着任または代替体制の構築により、計画作成・モニタリングの正常化を図る。
2	送迎時の一人体制に対して保護者・職員双方から不安の声がある。	送迎ルートや人員数の制約により、安全配慮が十分でない時間帯がある。	送迎時の添乗配置や体制再検討を行い、安全面の強化を進める。
3	送迎時の一人体制に対して保護者・職員双方から不安の声がある。	地域連携は優先順位が低くなりやすく、計画的に取り組む体制が整っていない。	地域連携や家族支援について年間計画を立て、段階的に取り組む。